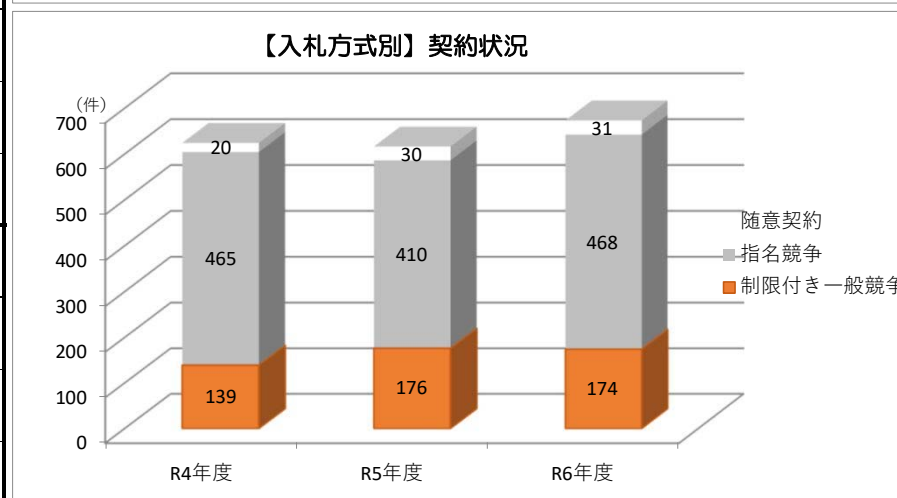
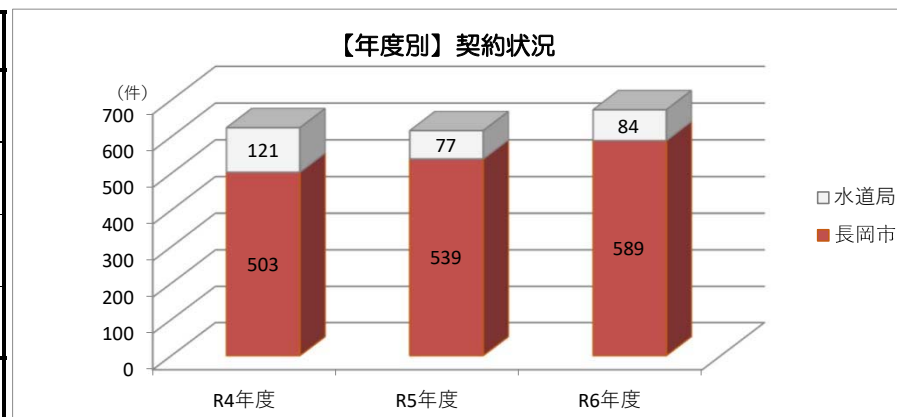


令和6年度公共工事契約状況

契約状況について

(単位: 件)

	4年度	5年度	6年度
長岡市	503	539	589
制限付き一般競争	103	141	141
指名競争	387	374	419
随意契約	13	24	29
水道局	121	77	84
制限付き一般競争	36	35	33
指名競争	78	36	49
随意契約	7	6	2
合 計	624	616	673
制限付き一般競争	139	176	174
指名競争	465	410	468
随意契約	20	30	31



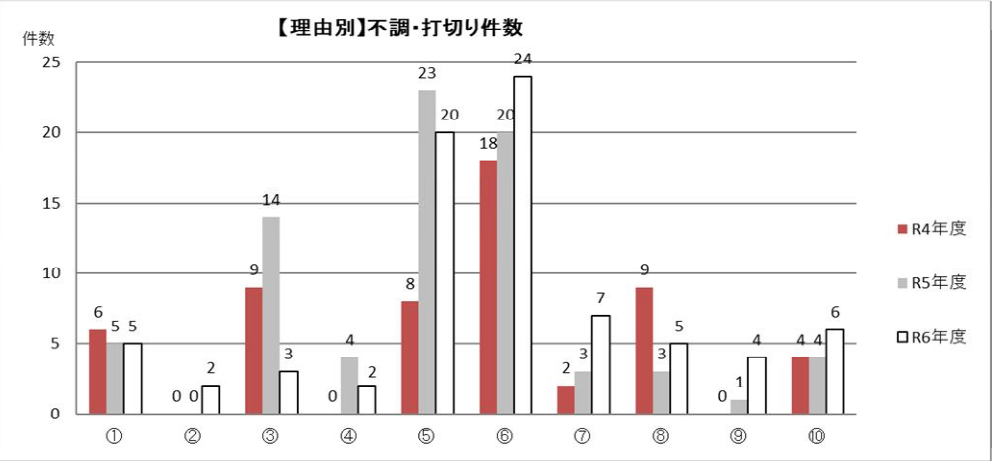
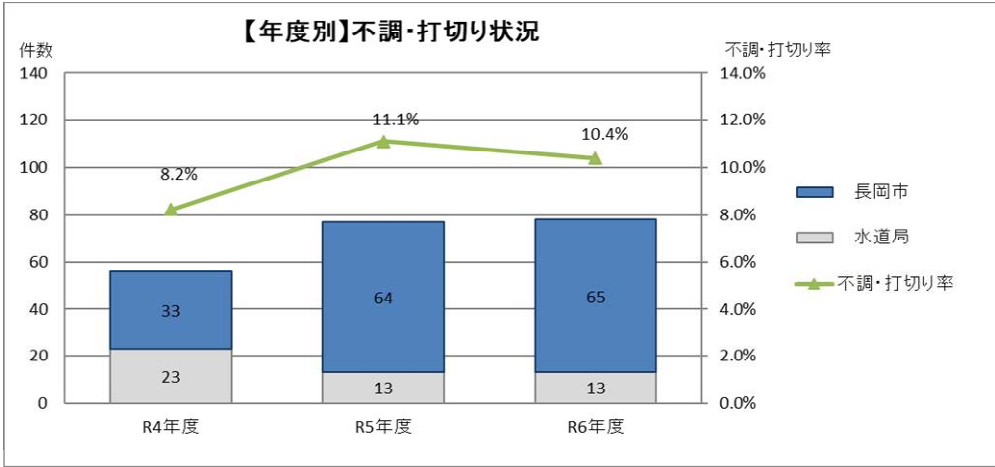
＜契約状況の傾向分析＞

公共工事の契約件数は、全体の傾向として、令和4・5年度はほぼ横ばいでしたが、令和6年度には前年度比1割弱の増加が見られます。制限付き一般競争入札か指名競争入札かは設計額によって決まるため、件数と割合は年度により多少異なりますが、特に令和6年度に指名競争入札が増加したのは、市内各小学校の無線LAN整備工事を実施したこと等によるものです。随意契約の件数が、令和4年度に比べ、5年度で増加したのは、不調・打ち切りとなった入札が増えたことによるものと考えております。6年度もほぼ横ばいで推移しており、引き続き同様の状況が続いているものと考えられます。

入札における不調・打切り状況

(単位: 件)

区 分	理由	4年度	5年度	6年度
不 調	① 下限価格以上の価格で入札をした者がいなかったため	6	5	5
	② 再入札での最低入札価格が予定価格を上回り、かつその差額が予定価格の10%に相当する額以内のため、最低入札価格で応札した業者と随意契約協議を行ったが協議不調のため	0	0	2
	③ 再入札において、最低の入札価格が予定価格を上回り、かつ、その差額が予定価格の10%に相当する額を超えたため	9	14	3
	④ 見積もり合わせの結果、予定価格に達しなかったため	0	4	2
打 切 り 取 止 め	⑤ 入札に参加する者がいなかったため	8	23	20
	⑥ 指名競争入札において、入札者が1人となったため	18	20	24
	⑦ 再入札に参加する者がいなかったため	2	3	7
	⑧ 指名競争入札において、再入札者が1人となったため	9	3	5
	⑨ 指名競争入札において、再入札に参加できるものが1人となったため	0	1	4
	⑩ 事務処理誤りのため(入札前の設計・仕様書誤りを含む)	4	4	6
合 計 (a)		56	77	78
長 岡 市		33	64	65
水 道 局		23	13	13
契約件数(随意契約を含む) (b)		624	616	673
不調・打切り率 (a/(a+b))		8.2%	11.1%	10.4%

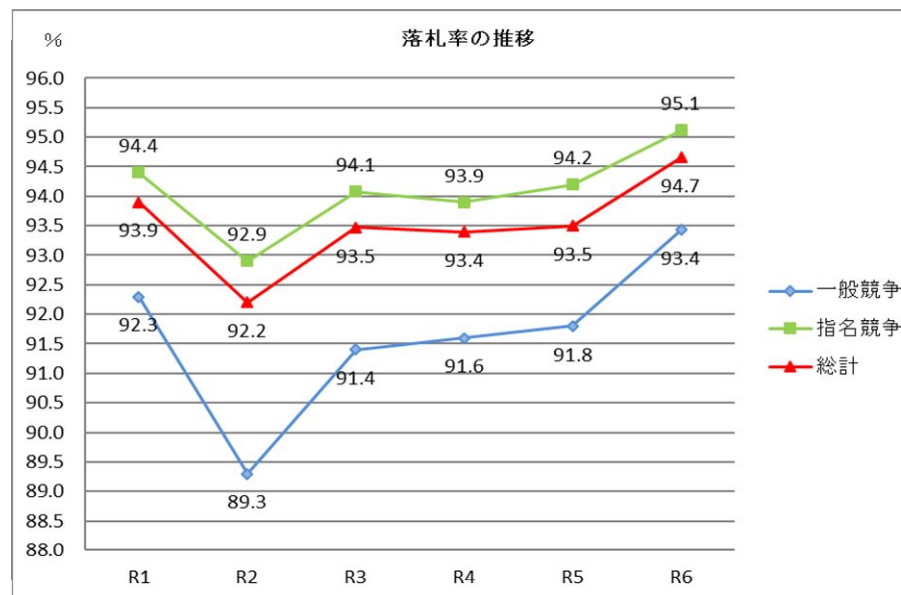


<不調・打切り状況の傾向分析>

不調・打切り件数は令和5年度から増加し、6年度は引き続き横ばいです。ただし全体の契約件数が増えているため、不調・打切り率は減少しています。
令和5年度に比べ、6年度では不調(①～④の理由)の件数は大きく減少しているのに対し、打切り取止め(⑤～⑨の理由)の件数は依然多い傾向にあります。これは急激な価格高騰等による入札不調の発生は落ち着いてきたものの、技術者不足等を理由とした入札不参加・辞退による入札打切りの発生は変わらず続いていることによるものと考えられます。

落札率の動向

年度		総計		指名競争入札		一般競争入札	
		件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率
長岡市	元	584	93.9	458	94.4	126	92.0
	2	635	92.4	531	93.0	104	89.6
	3	533	93.6	426	94.0	107	91.7
	4	490	93.6	387	94.0	103	92.3
	5	515	93.7	374	94.3	141	92.0
	6	560	94.8	419	95.1	141	93.8
水道局	元	101	93.9	64	94.5	37	93.0
	2	89	90.6	52	92.3	37	88.3
	3	101	93.0	64	94.4	37	90.6
	4	114	92.5	78	93.7	36	89.7
	5	71	92.1	36	93.4	35	90.6
	6	82	93.9	49	95.3	33	91.8
全体	元	685	93.9	522	94.4	163	92.3
	2	724	92.2	583	92.9	141	89.3
	3	634	93.5	490	94.1	144	91.4
	4	604	93.4	465	93.9	139	91.6
	5	586	93.5	410	94.2	176	91.8
	6	642	94.7	468	95.1	174	93.4



<落札率の動向の傾向分析>

全体的な傾向として令和2年度に大きく下落しましたが、その後は年度により上昇又は横ばいという傾向がみられます。
 令和2年度の大きな下落は、令和2年1月20日に変動型最低制限価格制度を導入したことによるもの、その後の上昇は、変動型最低制限価格制度の下限価格の算定率の引上げ（令和3年1月4日：85%→88%、令和6年3月1日：88%→90%）によるものであり、いずれの変化も制度改正による影響によるものと考えられます。

令和6年度 工種別・入札契約方法別の契約件数・金額集計表(R6.4.1～R7.3.31)

工事種別	契 約 件 数				契 約 金 額 (千円)			
		制限付き 一般競争	指名競争	随意契約		制限付き 一般競争	指名競争	随意契約
土木一式	150 (22.3%)	48	102	0	4,507,855 (20.9%)	3,740,996	766,859	0
下水道管渠	25 (3.7%)	7	18	0	400,314 (1.9%)	197,855	202,458	0
建築一式	26 (3.9%)	18	4	4	6,148,349 (28.5%)	6,009,485	23,804	115,060
舗装	82 (12.2%)	3	79	0	627,936 (2.9%)	69,531	558,405	0
電気	140 (20.8%)	25	107	8	3,114,616 (14.4%)	2,090,330	912,845	111,441
管	121 (18.0%)	29	87	5	3,165,264 (14.7%)	2,575,377	485,398	104,489
水道施設	4 (0.6%)	3	1	0	750,728 (3.5%)	740,630	10,098	0
その他 (水道管工事を含む)	125 (18.6%)	41	70	14	2,842,156 (13.2%)	2,066,331	521,524	254,301
合計	673 (100.0%)	174	468	31	21,557,217 (100.0%)	17,490,536	3,481,390	585,291
(昨年度)	(616)	(176)	(410)	(30)	(25,654,429)	(21,968,183)	(3,181,214)	(505,032)